

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間災害を想定しての訓練が実施できていない。	昼夜を問わず、災害時に利用者様が速やかに避難できる方法を全職員が身につける。(避難訓練・避難経路の確認・消火器の取扱の方法)	○年に1回の消防署の指導を受けての訓練の他に、ホーム内で2ヶ月に1回の消防訓練を実施する。(消火器の取扱訓練は1ヶ月に2回) ○夜間を想定した訓練ではホーム内を暗くし、昼寝の時間等に行う。(スタッフは夜勤者)	12ヶ月
2	5	「グループホーム虹の家」が村全体にまだPRされていない。	地域密着型としてのグループホーム虹の家が村全体に意識化され、認知症に対する理解度を高め、協力関係を構築する。	○各区へ「グループホーム虹の家だより」を2ヶ月に1回発行し、活動を報告する。 ○定期的に公民館や学校、いろいろな地域の機関へ出向き、認知症についての講話・勉強会等を行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。